

出雲市水道事業ビジョンの中間評価について

1 出雲市水道事業ビジョンの基本理念と基本方針

基本理念

「安全で安心な水を安定供給し続ける水道」

基本方針

「安全」……安全でおいしい水をとどけます

「強靱」……災害に強い施設をつくり、しなやかな水道を実現します

「持続」……健全な供給基盤の確保と安定的な事業運営に努めます

計画期間

平成 30 年度(2018)から令和 9 年度(2027)までの 10 年間

2 中間評価の趣旨

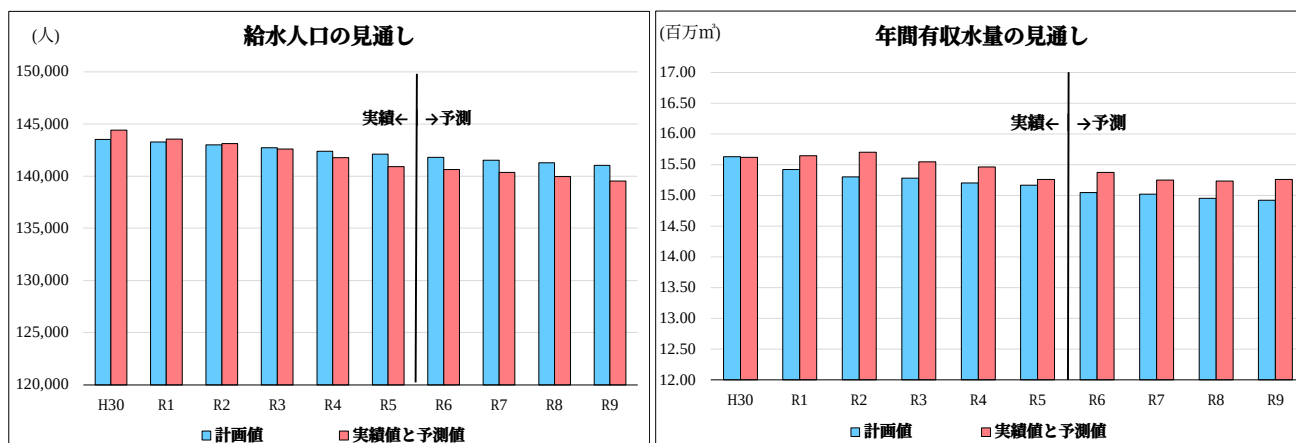
出雲市水道事業ビジョンは、策定から 6 年が経過し、基本理念や基本方針に基づいた重点的取組の進捗状況の確認と評価を行うとともに、事業環境の変化による新たな課題や施策に取り組むため、中間評価を行いました。

3 事業環境と今後の予測

3-1 給水人口と有収水量の予測

給水人口は「出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基に推計し、減少すると予測していましたが、令和 3 年度(2021)以降の実績値は計画値を下回りました。今後も、給水人口は減少傾向が続くと見込んでいます。

年間有収水量は、人口減少に加え節水意識の向上により減少すると予測していましたが、令和元年度(2019)以降の実績値は計画値を上回りました。今後も、年間有収水量は減少傾向が続くと見込んでいます。



3-2 財政計画

物価高騰の影響により、収益的支出は計画値より増加し、この増加に伴い純利益は減少するものと見込んでいます。また、純利益の減少により内部留保資金は減少し 10 億円を下回るものと見込んでいます。

管路耐震化等の施設整備を推進するなか、物価高騰や給水人口の減少による影響は大きく、厳しい経営状況となっています。

収益的収支 【上段は計画値、中段は見込値 (R5までは実績、R6は予算)、下段は増減】

(単位: 百万円)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
収益的収入	3,394	3,338	3,627	3,453	3,419	3,391	3,350	3,315	3,286	3,274
	3,252	3,292	3,510	3,580	3,386	3,331	3,326	3,276	3,262	3,267
	▲ 142	▲ 46	▲ 117	127	▲ 33	▲ 60	▲ 24	▲ 39	▲ 24	▲ 7
収益的支出	3,376	3,296	3,244	3,055	3,043	2,944	2,934	2,869	2,834	2,867
	3,090	3,120	3,179	3,252	3,139	3,073	3,233	3,150	3,157	3,160
	▲ 286	▲ 176	▲ 65	197	96	129	299	281	323	293
純利益	18	42	383	398	376	447	416	446	452	407
	162	172	331	328	247	258	93	126	105	107
	144	130	▲ 52	▲ 70	▲ 129	▲ 189	▲ 323	▲ 320	▲ 347	▲ 300

資本的収支 【上段は計画値、中段は見込値 (R5までは実績、R6は予算)、下段は増減】

(単位: 百万円)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
資本的収入	898	854	779	719	765	674	665	578	546	480
	889	837	885	927	895	1,054	1,348	943	927	873
	▲ 9	▲ 17	106	208	130	380	683	365	381	393
資本的支出	2,462	2,251	2,255	2,278	2,274	2,293	2,292	2,366	2,262	2,224
	2,886	2,222	2,637	2,488	2,415	3,107	3,013	2,485	2,467	2,433
	424	▲ 29	382	210	141	814	721	119	205	209
資本的収支 不足額	1,564	1,397	1,476	1,559	1,509	1,619	1,627	1,788	1,716	1,744
	1,997	1,385	1,752	1,561	1,520	2,053	1,665	1,542	1,540	1,560
	433	▲ 12	276	2	11	434	38	▲ 246	▲ 176	▲ 184

内部留保資金残高 【上段は計画値、中段は見込値 (R5までは実績、R6は予算)、下段は増減】

(単位: 百万円)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
内部留保 資金残高	875	806	1,030	1,169	1,347	1,407	1,443	1,315	1,263	1,172
	1,655	1,698	1,618	1,728	1,807	1,402	1,001	996	890	767
	780	892	588	559	460	▲ 5	▲ 442	▲ 319	▲ 373	▲ 405

企業債残高 【上段は計画値、中段は見込値 (R5までは実績)、下段は増減】

(単位: 百万円)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
企業債残高	14,372	13,846	13,222	12,590	11,927	11,255	10,595	9,963	9,350	8,772
	14,372	13,845	13,320	12,787	12,220	11,845	11,742	11,408	11,091	10,809
	0	▲ 1	98	197	293	590	1,147	1,445	1,741	2,037
企業債 発行額	300	300	200	200	200	200	200	200	200	200
	300	300	300	300	300	500	760	500	500	500
	0	0	100	100	100	300	560	300	300	300
元金 償還額	792	826	824	832	863	872	861	832	813	778
	792	827	825	833	867	875	863	834	817	782
	0	1	1	1	4	3	2	2	4	4

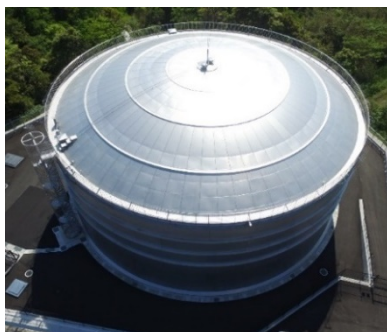
4 進捗状況の把握と評価

4-1 「安全」安全でおいしい水をとどけます

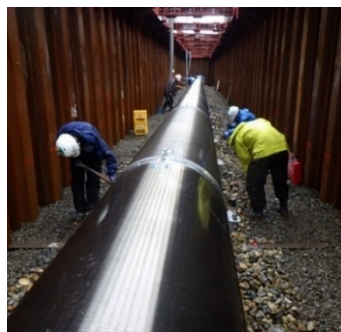
基本方針	重点的取組	中間評価（実績）	今後の取組
安全	安全で安定した水源の確保	・新水源開発に着手	・令和9年度に新水源の一部供用開始予定
		・県用水の受水量増加に向け平田地域の施設整備に着手	・令和8年度に県用水の受水量増加予定
	水源から蛇口までの水質保持及び衛生対策の徹底	・水安全計画に基づく水質保持の徹底 ・計画的な配水池清掃の実施	・水安全計画の適切な見直し ・浄水処理方法の改善 ・計画的な配水池清掃の実施
		・受水槽設置者への指導	・指定給水装置工事事業者への講習会の開催 ・受水槽設置者への指導強化

4-2 「強靱」災害に強い施設をつくり、しなやかな水道を実現します

基本方針	重点的取組	中間評価（実績）	今後の取組
強靱	水道施設の耐震性能の向上	・管路の耐震化の実施 事故時の影響が大きい管路の耐震化の実施 ・給水管、小口径管の耐震化の実施	・管路の耐震化の推進 事故時の影響が大きい管路の耐震化の実施 重要給水施設への管路耐震化の推進 ・給水管、小口径管の耐震化の実施
		・施設の耐震化の実施 事故時の影響が大きい浄水場や配水池の耐震化の実施 (向山第1・3配水池完了) (非耐震の七面山配水池廃止)	・施設の耐震化の推進 事故時の影響が大きい浄水場や配水池の耐震化の推進
	老朽化した施設の計画的更新	・管路更新計画の策定 ・管路更新の実施 ・計画的な漏水調査の実施	・管路更新の推進 ・計画的な漏水調査の実施
		・施設更新の実施 (灘分第3水源池完了) ・既存施設の長寿命化の実施	・施設更新と長寿命化の推進
	危機管理対策の強化	・災害訓練の実施 ・危機管理マニュアルの見直し	・災害訓練の充実 ・危機管理マニュアルの充実
		・災害に強い施設整備の実施 給水車購入、停電対策	・災害に強い施設整備の推進



向山第1配水池



灘分第3水源池取水管



災害訓練

4－3 「持続」 健全な供給基盤の確保と安定的な事業運営に努めます

基本方針	重点的取組	中間評価（実績）	今後の取組
持 続	水道施設の 健全で効率的な 運用と再構築	・アセットマネジメントの策定	・アセットマネジメントの改定
		・施設規模の適正化の実施 (浜ポンプ場送水施設更新完了)	・施設規模の適正化の推進 灘分系の送水方法の見直し
	適正な水道料金等 に基づく収入の確保	・令和2年度に料金改定を実施 ・支払方法の拡充(スマホ決済導入)	・収納率の向上を図る取組の検討
	業務の効率化	・水道台帳システムの整備	・各種システムのデジタル化を検討
		・島根県水道広域化推進協議会に 参加	・島根県水道広域化推進協議会に 参加し、業務の効率化を検討
	職員の育成と 技術の継承	・職員研修の実施	・職員研修の実施
	住民との連携促進 及び情報共有	・情報メディアの活用による情報発信	・情報メディアを活用した情報発信の 充実



浜ポンプ場送水施設



👉みずもちゃん

出雲市上下水道局公式キャラクター

5 まとめ

出雲市水道事業ビジョンに掲げた重点的取組については、将来の安定的な取水量確保のための新水源開発、水需要に対応した給水区域再構築のための水融通連絡施設の整備、事故時の影響が大きい施設及び基幹管路の耐震化推進や危機管理マニュアルの作成等、「安全」「強靱」「持続」を柱に取り組みました。

課題としては、管路や施設の老朽化は年々進んでいることから今後一層の更新を必要としますが、給水人口や有収水量の減少にともなう収入の減少や物価高騰による工事価格の上昇等は、投資可能額に大きく影響しており、整備計画内容の見直しや財源確保の検討が必要となっています。

水道事業を取り巻く環境は、本計画の策定当初よりも厳しい状況となっていますが、今後も出雲市水道事業ビジョンに掲げた基本方針の実現に向け取り組んでいくとともに、一層の経営努力や整備計画の検討を重ね、安全、安心、安定な水道事業の推進を図ります。